

2023年11月15日

長谷工不動産のコンセプト賃貸マンション

『WORVE（ワーブ）大阪本町』

DBJ Green Building 認証★3 を取得

株式会社長谷工不動産（本社：東京都港区、代表取締役社長：松本 健）は、コンセプト賃貸マンション「WORVE（ワーブ）大阪本町」で「非常に優れた『環境・社会への配慮』がなされた建物」として DBJ Green Building 認証★3 を取得しましたのでお知らせいたします。

WORVE は「働く（WORK）」と「住もう（LIVE）」のハイブリッドマンションとして、ご入居者が 24 時間利用できる共用ワークスペース（オープン型・個室型）や、集中またはリラックスしながら仕事をするうえで必要な各設備を完備したマンションシリーズです。在宅勤務の大きな課題である「集中とリラックスの切り替え」や「孤立感」の解消を目指し、ワークスペースを含む各共用空間のデザインにもこだわりました。併せて、感染症対策についても徹底しております。

「WORVE 大阪本町」はシリーズ第 2 弾物件として 2023 年 3 月に竣工、同月より入居を開始しました。同シリーズ初弾の「WORVE（ワーブ）東京木場」に続き、ワークスペースの設置・入居者利便性・環境配慮等が評価され、この度 DBJ Green Building 認証において★3 を取得しました。今後は、「那覇エリア」と「横浜エリア」で開発中の同シリーズでも高評価の認証取得を目指してまいります。



【外観ファサード】



【共用ワークスペース】

■ 「DBJ Green Building 認証」の概要

DBJ Green Building 認証とは、環境・社会への配慮がなされた不動産（「Green Building」）を支援するために、2011 年 4 月に日本政策投資銀行（DBJ）が創設した認証制度です。

対象物件の環境性能に加えて、防災やコミュニティへの配慮等を含む様々なステークホルダーへの対応を含めた総合的な評価に基づき、社会・経済に求められる不動産を評価・認証し、その取り組みを支援するものです。

■ 評価されたポイント

1. Energy & Resources

ワークスペースの大規模窓面による採光利用、LED 照明の設置、節水型水栓の採用等により、省エネ・省資源に配慮している点



【ワークスペースの大規模窓面】



【節水型水栓】

2. Amenity

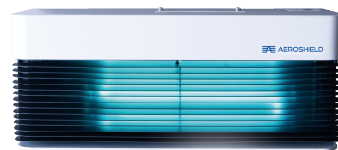
ワークスペースの設置、図書スペースの確保、ワークスペースへのエアロシールドの設置、エレベーターへの非接触ボタンの採用等により、入居者の利便性・健康性に配慮している点



【ワークスペース】



【図書スペース】



【エアロシールド】

紫外線照射装置により、人がいる空間でも安全に24時間空気中の浮遊菌を減少させます。



【入居者アプリ(左：ワークスペース CO2 濃度、右：空席確認)】



【エレベーター 非接触ボタン】

3. Resilience

顔認証システム及びクラウドネットワークシステムの防犯カメラの採用等により、施設の防犯性に配慮している点



【顔認証システム・スマートキーの採用】
エントランス・サブエントランス・ゴミ置場に顔認証システムを導入

自転車置き場及び建物内各所に
ネットワークセキュリティカメラを設置

■ 物件概要

都心・通勤時のアクセスが良好な本町エリアに位置しながら、スーパーやドラッグストア等の生活利便施設が点在し、テニスコートやバラ園などがある靱公園も徒歩圏の立地です。

物件名称：WORVE（ワーブ）大阪本町

所在地：大阪市西区西本町 1-12-14

交通：御堂筋・中央・四つ橋線

『本町』駅 徒歩 4 分

敷地面積：784.55 m²

延床面積：5,513.88 m²

構造規模：RC 造 地上 14 階建

総戸数：181 戸

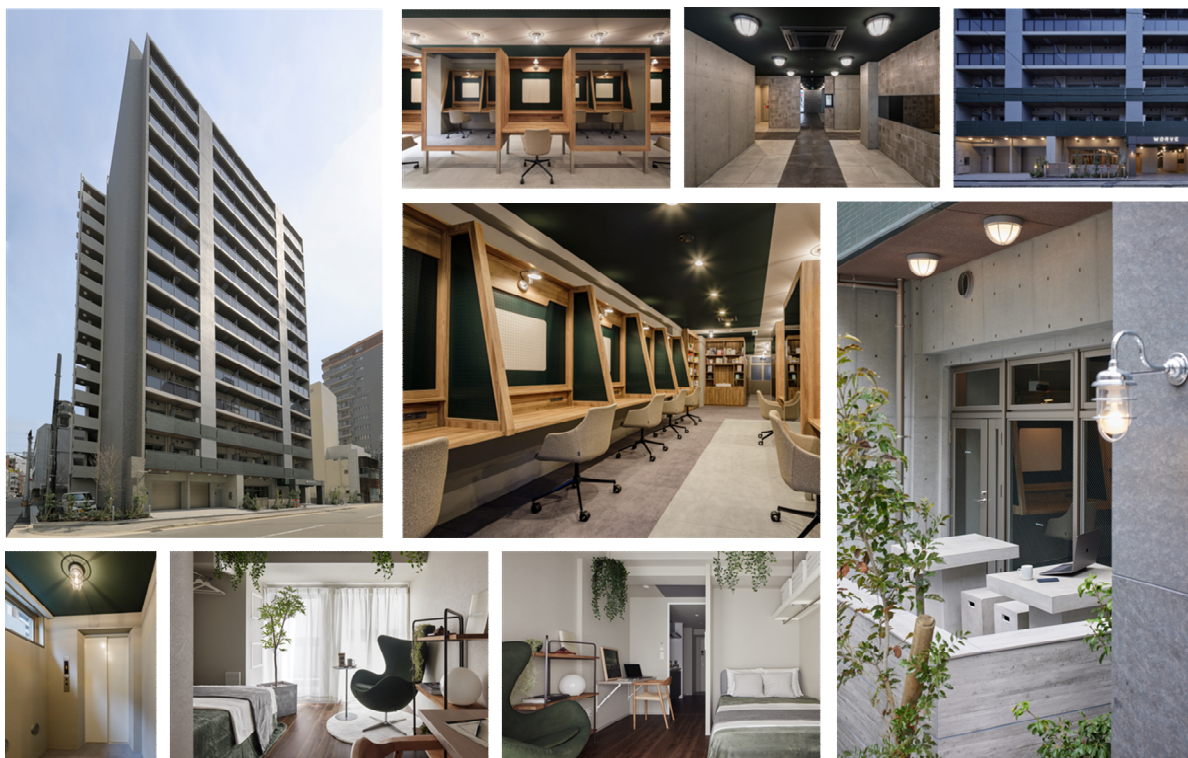
竣工年月：2023 年 3 月

間取り：1K、1DK、1K+S、1LDK+S

専有面積：21.21m²～73.07m²



■ フォトギャラリー



■ WORVE 大阪本町 公式 HP : <https://www.worve.jp/osaka-honmachi>



←HP はこちら

本件に関するお問い合わせ先

株式会社長谷工不動産 商品企画部 中村 03-3452-7221